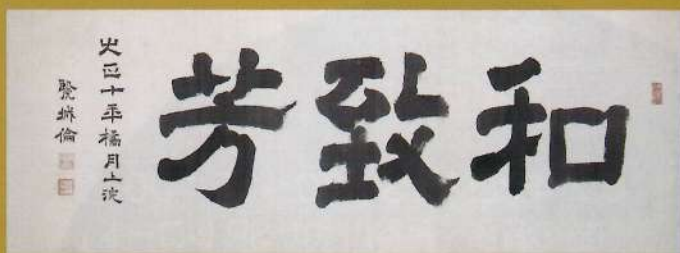


旧小津清左衛門家

紀州徳川家と松阪商人

4/25(火)▶7/23(日)

元和5年(1619)、徳川家康の十男 頼宣が駿河から和歌山に移封し、勢州三領(松坂・田丸・白子)を含む紀州藩が誕生しました。その当時、すでに松坂城下には裕福な商人が群居しており、紀州藩はその中の有力な商人に様々な責務を負わせました。本企画展では、古文書や道具類などから紀州藩と松阪商人の関わりをご紹介します。



徳川頼倫筆「和致芳」



紀州藩御用文書箱

学芸員による展示解説

5/13(土)、7/8(土)の午前11時より20分程度

※入館料のみ必要

お問合せ先 三重県松阪市本町 2195 番地 TEL 0598-21-4331

原田二郎旧宅

松坂城の軌跡

4/4(火)▶8/13(日)

松坂城は、天正16年(1588)、蒲生氏郷が独立丘陵の四五百森よいほのもりに築いた平山城ひらやまじろです。蒲生家後は、服部家・古田家・紀州徳川家が城主となり、明治以降は松坂公園として市民に親しまれてきました。本企画展では、古文書や出土品・古写真などから、松坂城の軌跡をご紹介します。



南龍神社本殿扉(松阪市立歴史民俗資料館蔵)



古田重治書状(松阪市立歴史民俗資料館蔵)

学芸員による展示解説

4/22(土)、6/24(土)

午前11時より15分程度

※入館料のみ必要

お問合せ先 三重県松阪市殿町 1290 番地
TEL 0598-23-1656